シグマ光機株式会社

証券コード：7713

第47期 報告書

2021年6月1日 ► 2022年5月31日

Light Solutions for Life®

光なら、きっとできる。

Contents

株主の皆様へ
2022年5月期業績（連結）
2022年5月期セグメント別概況（連結）
2023年5月期業績見通し（連結）
2022年5月期海外業績の概況（連結）
Topics
- こんなところにシグマ光機
- 新製品・サービス紹介「Bluetooth用SG Sample」
- 展示会への出展再開

サステナビリティ活動
株主様アンケート結果のご報告
連結財務諸表
株式の状況／会社概要

OptoSigma®

経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

Light Solutions for Life®

「感謝」「挑戦」「創出」

光技術を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

気候変動、資源の枯渇、貧困問題、人権問題、…等。地球上の「くらし」や「いのち」を巡る社会課題は、複雑化・深刻化が急速に進行しており、その解決に向けて、企業に求められる役割も年々拡大しております。「光産業を通じ、社会に貢献します。」という使命を持つ当社においても、社会が求める「光ソリューション」の提供等を通じて、レジリエントでサステナブルな社会の実現を目指しております。当社は、大きく変化する経営環境に対応するため、「成長戦略」、「ビジネスモデルの変革」、「IT活用・中核人材育成」、「社会貢献活動」に重点的に取り組むことで、光技術が持つ可能性を更に広げるとともに、安定的な株主還元に努め、より豊かで、持続可能な社会の実現を強力に推進してまいる所存でございます。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シグマ光機株式会社

代表取締役社長　近藤 洋介

先行き不透明感が高まるも、総じて堅調に推移。

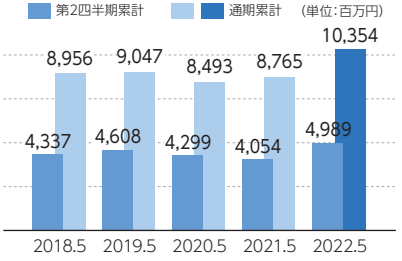
世界経済の先行き不透明感が高まる中、エレクトロニクス分野を中心に当社の需要は総じて堅調に推移いたしました。国内・アジア地域では、電子部品・半導体業界向け及びバイオ業界向けがそれぞれ好調に推移し、フラットパネルディスプレイ業界向けは回復基調で推移いたしました。海外地域においては総じて回復基調で推移いたしました。

利益率の高い一部産業分野向け製品が需要増。

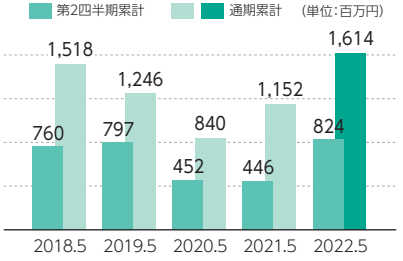
売上高の増加に伴う材料費・外注加工費等の増加や、新工場棟関連の減価償却費の増加、展示会への出展及び対面型営業活動の再開等による販売促進費・広告宣伝費の増加等によって、売上原価と販売管理費がそれぞれ増加いたしましたが、利益率の高い一部産業分野向け製品の需要が堅調に推移した結果、営業利益が増加し、利益率も改善いたしました。

2022年5月期業績（連結）

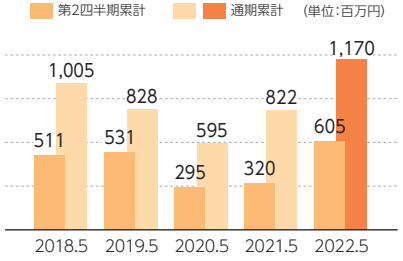
売上高 103億54百万円
（前年同期比 18.1％増）



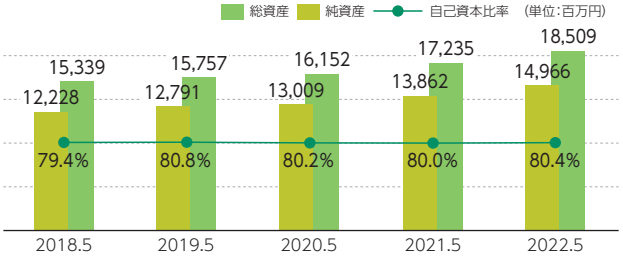
経常利益 16億14百万円
（前年同期比 40.1％増）



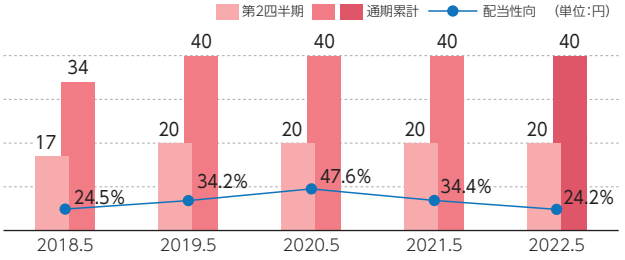
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 11億70百万円
（前年同期比 42.3％増）



総資産・純資産・自己資本比率



配当金、配当性向

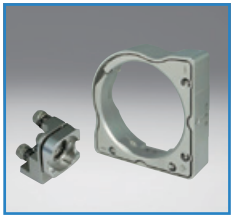


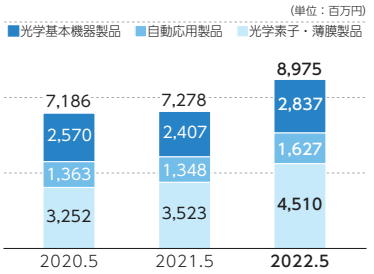
2022年5月期セグメント別概況（連結）

▶ 要素部品事業

■ 売上高

23.3% 増
（前年同期比 1,697百万円増）





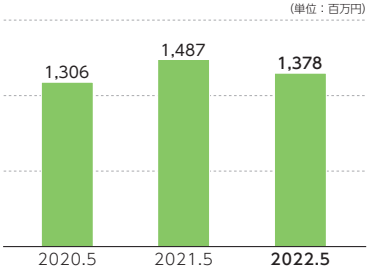
ポイント **電子部品・半導体業界向けが好調**

大学・官公庁向けは弱含みで推移し、産業分野向けはエレクトロニクス分野を中心に堅調に推移いたしました。国内・アジア地域では、電子部品・半導体業界向けの光学素子・薄膜製品や光学基本機器製品、及びバイオ業界向けの自動応用製品がそれぞれ好調に推移いたしました。米国地域、欧州地域ともに堅調に推移し、東南アジア地域は新型コロナウイルス感染症の影響が長引き軟調に推移いたしました。

▶ システム製品事業

■ 売上高

7.3% 減
（前年同期比 108百万円減）



ポイント **需要は堅調も長納期化が進む**

エレクトロニクス分野を中心に需要は堅調に推移いたしましたが、半導体等の部品や一部原材料の供給不足等に起因した長納期化の影響で、売上高が伸び悩みました。電子部品・半導体業界向けの光学ユニット製品は堅調に推移し、フラットパネルディスプレイ業界向けの光学ユニット製品は回復基調で推移いたしました。防衛業界向け及び医療業界向けは弱含みで推移いたしました。

2023年5月期業績見通し（連結）

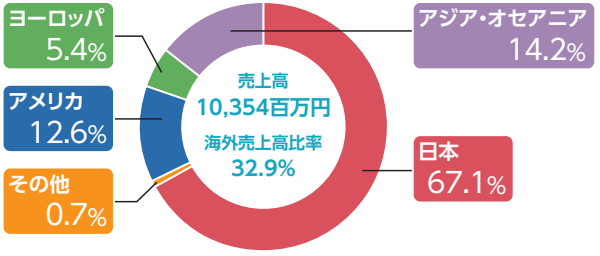
世界経済は、地政学的リスク、各国の金融政策の影響など、不確実性が高まっております。当社は、提案型営業展開の強化、ウェブカタログの拡充、オンライン販促の推進、産学官連携等、成長市場を中心に事業拡大に取り組み、海外展示会出展、キャラクターの展開等、グローバル認知度向上も図ってまいります。また、ものづくり力の強化と生産性向上のため、高精度な設備の導入や既存工場の増改築、研究開発投資、人員採用等も推進してまいります。これらの状況を踏まえて、第48期年間配当金は40円（予定）とし、安定的な配当を実施してまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当額
10,680百万円	1,550万円	1,700百万円	1,185百万円	40円（※通期累計額）
（前年同期比3.1%増）	（前年同期比7.8%増）	（前年同期比5.3%増）	（前年同期比1.3%増）	配当性向 23.9%

2022年5月期海外業績の概況（連結）

●顧客所在地別概況

■海外売上高構成比



■顧客所在地別売上高・営業概況

日本	6,944 百万円	産業分野向けを中心に堅調。電子部品・半導体業界向け光学要素部品の需要が好調に推移。光学システム製品は長納期化により伸び悩む。
アメリカ	1,308 百万円	産業分野向けを中心に回復基調で推移。医療業界向け等が堅調。WebやSNS等、オンラインを活用した当社ブランド認知度向上施策を継続。
ヨーロッパ	562 百万円	医療業界向け及び研究開発機関向けが堅調。海外出張や展示会出展等を再開。オンラインを活用した当社ブランド認知度向上施策を継続。
アジア・オセアニア	1,466 百万円	アジア地域では、電子部品・半導体業界等を中心に堅調に推移。東南アジア地域では、COVID-19の影響を受けるも、回復基調で推移。

》グループ会社概況

OptoSigma

2022年3月期は、ほぼ全分野が好調で、OEMも拡大し、売上高は過去最高の14.23百万＄（前期比25％増）でした。更なる競争力強化に向け、人員及び設備を増強しており、2023年度も継続予定です。また、新規OEM獲得と学術・研究分野の深耕に向け、ソリューション提案力を強化し、Web販売拡充、広告宣伝推進等、お客様の第一想起獲得に努めてまいります。

OptoSigma Europe

2022年3月期はCOVID-19から経済が回復し、特に医療・健康分野と研究開発分野が好調に推移した結果、売上高は前期比25％増の4.22百万€となりました。多くの国でコロナ規制が解除され、海外出張や対面商談が可能となる他、学会や展示会も再開される等、営業活動も軌道に乗りつつあります。また、E-コマースによる受注・売上ともに好調に推移しております。

上海西格玛光机有限公司

2022年3月期は、COVID-19の影響から回復し、売上高が前期比45％増の45.49百万元と、増収増益での予算達成となりました。上海市ロックダウンの影響で、4月、5月の2か月間の稼働停止を余儀なくされましたが、現在は順調に稼働しております。引き続き継続的成長と高付加価値製品の安定供給を目標に、生産技術と生産効率の向上に取り組んでまいります。

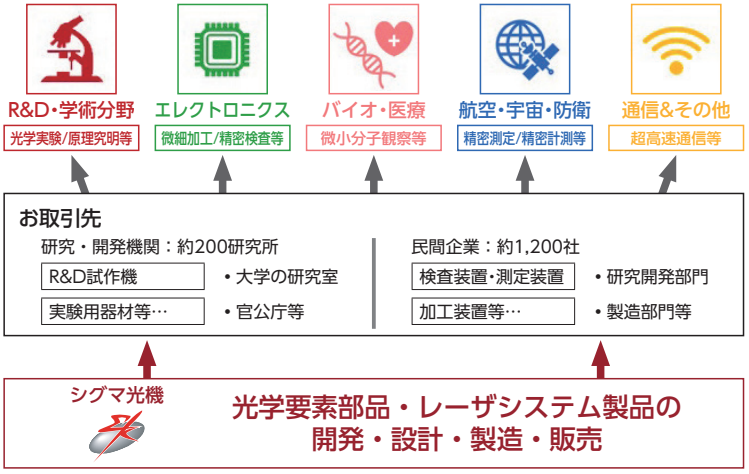
OptoSigma SIGMAKOKI Group

2022年3月期の売上高は1.75百万SG$となり、修正予算を達成いたしました。代理店販売、OEM、システム製品と特注品が堅調に推移いたしました。2023年度には、営業人員の増強、Web強化、製品ラインナップの増強、特注案件創出、産学官協力推進等により、売上拡大を目指します。引き続きブランド認知度向上策を継続し、COVID-19影響等のリスクにも対応してまいります。

Topics　こんなところにシグマ光機

私たちの身の回りでは『光技術』が広く使われており、その重要性はますます高まっています。
当社は、創業以来、『光』で社会に貢献しています。

主要なマーケット



詳細はこちらもご高覧ください。
https://www.sigma-koki.com/ir/individual/overview/

当社の事業内容

■要素部品事業

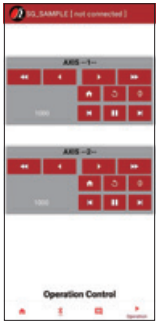
光を扱うために必要な部品やユニット製品です。レーザ光の集光・反射等に利用するレンズやミラー、それらを固定させるホルダーや微細な位置決め用のステージ、遠隔操作や自動操作のための電源やソフトウェア等を提供しています。

■システム製品事業

当社の総合力を活かしたシステム製品です。光学要素部品で培った生産技術とレーザ応用分野での豊富な実績で、測定・検査用途、評価・分析用途、生産・組立用途に至るまで、研究・開発用、産業用として多方面で採用されています。

Topics　新製品・サービス紹介「Bluetooth用SG Sample」

Bluetoothアダプタを経由して当社のステージコントローラを制御する、
スマートフォン用アプリです。Google Play® よりダウンロードできます。



Bluetoothでステージ制御!

開発者コメント：技術部 Abed Toufikさん

お客様と協力会社様に、最高のサービスと多様性を提供するために、本サービスを開発しました。このサービスによって、ユーザーは、専用機材やケーブル長などを気にすることなく、手元のスマートフォンやタブレットからアプリ内のサンプルコマンドを操作することで、当社のコントローラとステージを簡単に操作することができます。本サービスがユーザーのポータビリティを可能にし、テクノロジーに新しい変革をもたらしてくれることを期待しています。

詳細はこちらもご高覧ください。https://www.youtube.com/watch?v=iKRzg7HVV3Y

Bluetoothアダプタ
※写真はラトックシステム㈱様の商品となります。

Topics　展示会への出展再開

ワクチン普及、人々の移動の増加等を受けて、展示会への出展を再開いたしました。

SPIE Photonics West 2022（サンフランシスコ）

ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。
昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて展示会出展を見送りましたが、ワクチン接種も進み、人々の移動の制限が緩和されたことを踏まえて、感染症対策を徹底した上、現地出展を再開いたしました。展示会では、「高精密化」、「高精細化」、「高耐久化」に対応した新製品ラインナップを拡充し、協力企業様とのコラボ製品を展示する等、多様化する顧客ニーズへの対応力をアピールいたしました。来場者からもご好評をいただき、当社製品及び当社ブランドにつきまして高い関心が寄せられました。今後も、光学業界における主要展示会への出展を強力に推進して、当社のグローバルブランド「OptoSigma®」認知度の向上、ビジネス機会の創出、業界ネットワーキングの拡大等を目指してまいります。

LASER Word of Photonics 2022（ミュンヘン）

CIOE 2021（深セン）

OPIE'22 レーザーEXPO（東京）

●主要な展示製品
- 顕微鏡システム
- 観察ユニット
- ケージシステム
- コアユニット顕微鏡
- ナノステージシステム
- 調芯装置
- ピエゾアシストステージ
- 超小型チルトセンサ
- その他各種光学要素部品等

当社が参加した主要展示会情報

展示会名称	開催地	開催期間
CIOE 2021	深セン（中国）	2021年9月16日～18日
SPIE Photonics West 2022	サンフランシスコ（アメリカ）	2022年1月28日～2月2日
SPIE Photonics Europe 2022	ストラスブール（フランス）	2022年4月3日～7日
OPIE'22 レーザーEXPO	東京ビッグサイト（日本）	2022年4月20日～22日
LASER Word of Photonics 2022	ミュンヘン（ドイツ）	2022年4月26日～29日

サステナビリティ基本方針を策定

当社グループは、持続可能な社会の実現に向けて、当社グループの取り組みの実効性を更に高めるために、全役職員が順守すべき「サステナビリティ基本方針」を定めました。本基本方針のもと、当社グループは、その実践を通じて社会課題の解決と持続可能な社会の実現への貢献に取り組んでいきます。

詳細はこちらをご高覧ください。
https://www.sigma-koki.com/sustainability/sustainability-policy/

「光科学」分野の人材育成

光技術に関する教育の提供を通じた次世代を担う人材育成に取り組んでいます。

CORAL（先端レーザー科学教育研究コンソーシアム）

次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法への取り組み

当社では多様性を尊重する組織風土、多様な従業員が能力に応じて活躍できる環境づくりに取り組んでいます。
あわせて、従業員一人ひとりの意識改革にも取り組み、企業価値の向上を図っていきます。

次世代育成支援対策推進法に基づく
行動計画の策定及びHP公表のご報告

計画期間
2022年6月1日～2026年5月31日（4年間）
目標1
従業員の育児休業取得率の向上を図る
女性従業員　取得率100%
男性従業員　取得率10%以上または
育児目的休暇取得率30%以上

目標2
2週間以上の長期にわたる介護を必要とした子育ての支援対策として、介護休暇・介護休業への理解を深め、取得しやすい環境づくりを行う。

女性活躍推進法に基づく行動計画
進捗状況（2022年6月時点）のご報告

計画期間
2021年4月1日～2026年3月31日（5年間）

■製造・開発職種の女性正社員の割合
27.4%（目標：30.0%以上）

■管理職・管理職下位階層の女性社員総数の拡大
13名　（目標：19名以上）

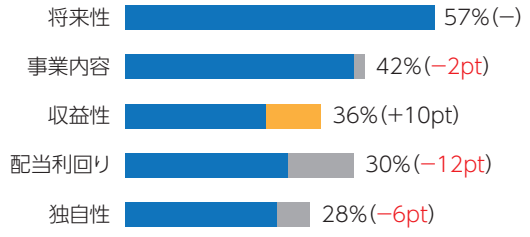
■年次有給休暇取得率の向上
70.7%（目標：73.0%以上）

詳細はこちらをご高覧ください。
https://www.sigma-koki.com/sustainability/social/employee/

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

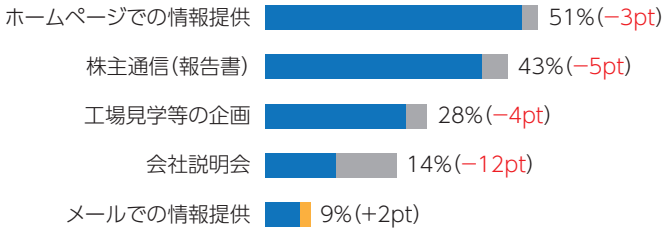
第47期中間報告書で実施したアンケートは、当社の全株主様4,835名（2021年11月30日時点）の約3%に相当する143名の株主様からご回答いただきました。
皆様よりお寄せいただいたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

●当社株式を購入された理由



※括弧内は、対第46期中間比

●充実を期待するIR活動



※括弧内は、対第46期中間比

株主様からのご意見

Q 日本の未来を良くする成長を期待します。

A 当社は、「我社は光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念のもと、サステナビリティ基本方針を策定しており、その実践を通じて社会課題の解決と持続可能な社会の実現への貢献に取り組んでいます。「光ソリューション・カンパニー」としての使命、そして「感謝」「挑戦」「創出」の気持ちを胸に、地球上の「くらし」や「いのち」に役立つ挑戦を進めてまいります。

詳細はこちらもご覧ください。
https://www.sigma-koki.com/sustainability/

Q 海外マーケットにももっと注力してください。

A 当社は、グローバルブランド『OptoSigma®』のもと、国内外の生産・販売拠点等のグループの総合力を活かして、海外マーケットにも積極的に事業を展開しています。海外売上高比率も32.9%を占め、著しい成長を遂げています。市場の拡大が続く各エリアでは、『最高品質・高付加価値』と『安定品質・市場流通価格』という二極化する市場ニーズに応え、お客様の「欲しいを形に」した製品の提供に取り組んでまいります。

株主様からのご意見・ご要望のご紹介

- 業績はいいと思うので、積極的なIR活動で、株価上昇をお願いします。
- 昔の業務で利用していたのでずっと応援しています。
- 御社の熊のキャラクターのファンです。グッズがあれば購入したいです。
- 貴社の技術力が世の中を変革していくことに期待しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科　目	当　期 2022年5月31日現在	前　期 2021年5月31日現在
(資産の部)		
流動資産	11,589	10,202
固定資産	6,920	7,032
有形固定資産	3,578	3,679
無形固定資産	102	123
投資その他の資産	3,238	3,229
資産合計	18,509	17,235
(負債の部)		
流動負債	2,533	2,179
固定負債	1,009	1,192
負債合計	3,543	3,372
(純資産の部)		
株主資本	14,214	13,327
その他の包括利益累計額	667	468
非支配株主持分	83	67
純資産合計	14,966	13,862
負債・純資産合計	18,509	17,235

連結損益計算書

(単位：百万円)

科　目	当　期 2021年6月 1日から 2022年5月31日まで	前　期 2020年6月 1日から 2021年5月31日まで
売上高	10,354	8,765
売上原価	6,269	5,406
売上総利益	4,084	3,359
販売費及び一般管理費	2,646	2,376
営業利益	1,437	983
経常利益	1,614	1,152
親会社株主に帰属する当期純利益	1,170	822

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科　目	当　期 2021年6月 1日から 2022年5月31日まで	前　期 2020年6月 1日から 2021年5月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	942	1,577
投資活動による キャッシュ・フロー	△708	△1,486
財務活動による キャッシュ・フロー	△532	△370
現金及び現金同等物に 係る換算差額	184	77
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△112	△201
現金及び現金同等物の 期首残高	3,247	3,449
現金及び現金同等物の 期末残高	3,135	3,247

解説ポイント

●連結貸借対照表

＜資産の変動＞

流動資産は、有価証券、原材料及び貯蔵品がそれぞれ増加し、現金及び預金が減少したこと等により、前期末比で13.6%増加いたしました。固定資産は、繰延税金資産が増加しましたが、投資有価証券、建物及び構築物がそれぞれ減少したこと等により、前期末比で1.6%減少いたしました。この結果、総資産は、前期末比で7.4%増加いたしました。

＜負債の変動＞

流動負債は、電子記録債務、支払手形及び買掛金がそれぞれ増加したこと等により、前期末比で16.2%増加いたしました。固定負債は、長期借入金が減少したこと等により、前期末比で15.3%減少いたしました。この結果、負債合計は、前期末比で5.1%増加いたしました。

＜純資産の変動＞

純資産は、前期末比で8.0%増加し、自己資本比率は、80.4%となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書

当期の現金及び現金同等物は、前期末比で1億1千2百万円の減少となりました。

営業CFは、税金等調整前当期純利益、減価償却費、仕入債務の増加でそれぞれ増加し、売上債権の増加、法人税等の支払でそれぞれ減少したこと等により資金を9億4千2百万円獲得いたしました。

投資CFは、投資有価証券の償還による増加があったものの、有価証券（金銭信託）の増加による支出、有形・無形固定資産の取得による支出でそれぞれ減少したこと等により資金を7億8百万円使用いたしました。

財務CFは、長期借入金の借入による増加があったものの、長期借入金の返済による支出、配当金の支払額でそれぞれ減少したこと等により、資金を5億3千2百万円使用いたしました。

詳細な情報はこちらをご覧ください。https://www.sigma-koki.com/ir/document/

株式の状況 (2022年5月31日現在)

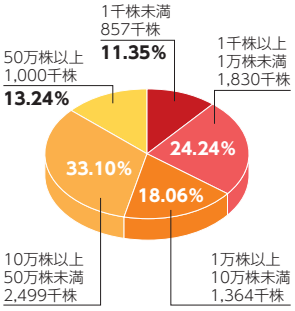
①発行可能株式総数	32,000,000株
②発行済株式総数	7,552,628株
③株主数	5,166名 (前期末比327名増)

④主要株主

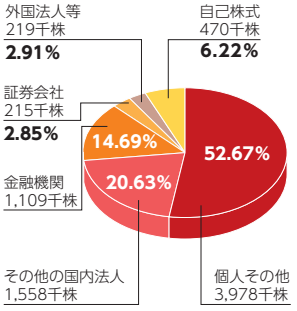
株　主　名	所有株数(千株)	持株比率(%)
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.11
シグマ光機取引先持株会	444	6.27
株式会社ツシマ	215	3.04
シグマ光機従業員持株会	207	2.92
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.86
富国生命保険相互会社	200	2.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	180	2.54
株式会社サンライズクリエート	148	2.09
杉山大樹	110	1.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	110	1.56

(注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
3. 持株比率は、自己株式（470,450株）を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



(注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
3. 自己株式　(470,450株)　を含んでおります。

会社概要 (2022年8月25日現在)

社　名	シグマ光機株式会社
本　社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設　立	1977年（昭和52年）4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	360名 (2022年5月31日現在)
役　員	代表取締役社長　近藤洋介 取締役　中村良二 取締役　多幡能徳 取締役(社外)　小澤勉 取締役(社外)　野﨑誠 取締役(社外)　松尾祐美子 常勤監査役(社外)　上野健司 監査役(社外)　南雲幸一 監査役(社外)　熊﨑美杉

(注) 社外取締役 野﨑誠氏及び松尾祐美子氏、社外監査役 上野健司氏及び熊﨑美杉氏の4氏は独立役員であります。

主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

当社の報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。

文字使用例
(従来) S36 (UDフォント) S36

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会　毎年5月31日 期末配当金　毎年5月31日 中間配当を行う場合は、毎年11月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告URL	https://www.sigma-koki.com/

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（電話照会先）フリーダイヤル 0120-782-031（通話料無料）
（インターネット ホームページURL）
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます）を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご留意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

（特別口座　口座管理機関）	みずほ信託銀行株式会社
（郵便物送付先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-288-324（通話料無料）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（QUOカードPay500円）を進呈させていただきます
※なお、抽選は同時期に実施されている他社株主アンケートへの回答者を含めて行われます。

https://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 7713
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信　kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

e-株主リサーチ
本アンケートは、株式会社リンクコーポレイトコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 https://www.link-cc.co.jp

アンケートのお問い合わせ　「e-株主リサーチ事務局」
MAIL：info@e-kabunushi.com

(2201)

シグマ光機株式会社
東京本社　東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221（総務部）

UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK